

令和4年度 学校キャラバンについて

第1弾 出前授業（鞍手竜徳高等学校）【概要】

実施日：令和4年5月16日（月）

参加者：福岡県立鞍手竜徳高等学校 総合学科工業技術系列（工業全般コース）3年生 50名

場所：福岡県立鞍手竜徳高等学校（福岡県宮若市龍徳161番地）実習室他

【カリキュラム】

生徒50人が5班に分かれ、各45分で5業種すべての作業を順次体験

キャラバン当日のRKB
毎日放送「タダイマ」の
なかで放送されました！

日時	作業名	作業内容	協力団体 【協力企業】
5月16日（月） *3年生50名	9:00～9:30	オリエンテーション	建設業の魅力を伝えます 建専連九州・九州地方整備局
	9:40～14:30 （昼休み含む） *生徒がグループ に分かれ順次体験	足場設置	高所で作業をするための足場を組み立てます 九州髙土工事業連合会 【（株）スギヤマ】 【中村工業（株）】
		型枠組立	コンクリートを流し込むための型枠を作ります （一社）日本型枠工事業工業会 九州支部 【（株）高崎組】
		鉄筋ガス圧接	鉄筋を加熱し、圧力を加えながら接合します 西日本圧接業協同組合 【栄進工業（株）】
		電気工事	電気設備の配線実演をします （一社）日本電設工事業協会 九州支部 【（株）島田電気商会】
	解体工事	解体重機の操作を体験します （一社）福岡県解体工事業協会 【（株）妹尾産業】 【（株）ダイアン】 【（株）オノケン】 【（株）藤田土木】	
14:40～15:30	意見交換会等	参加各団体・九州地方整備局・建専連九州	

オリエンテーション



作業体験

足場設置



型枠組立



出前授業の様子（鞍手竜徳高等学校）②

作業体験

鉄筋ガス圧接



電気工事



解体重機操作



意見交換会の様子

意見交換会での質問

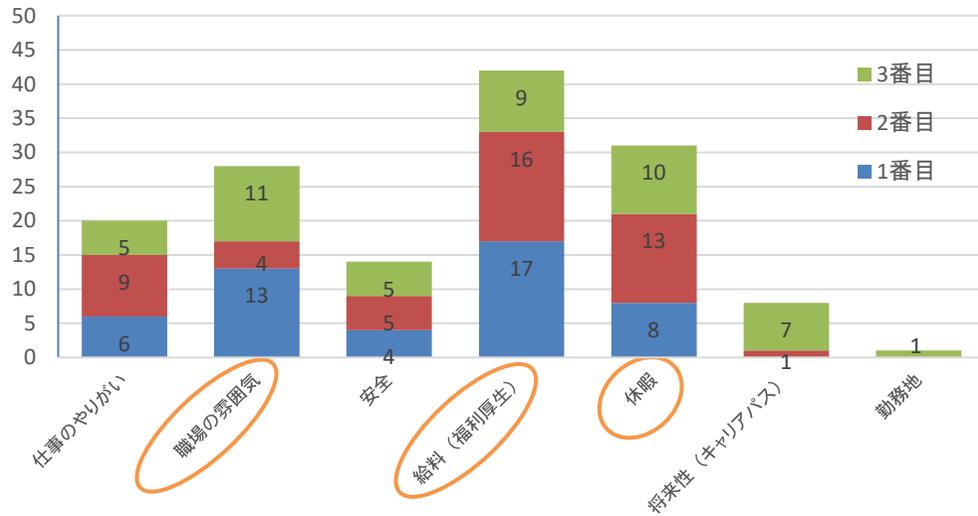
- ・建設業に入ったきっかけは？
- ・一番思い出に残っている仕事は？
- ・会社の福利厚生は？



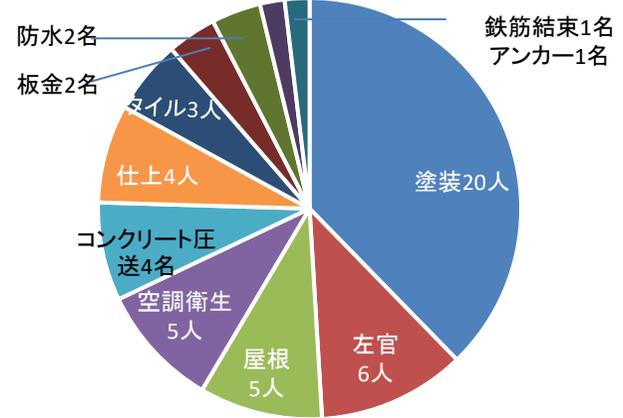
生徒のアンケート結果【学校キャラバン】

学校キャラバンに参加した鞍手竜徳高校の生徒 50 人が回答
(男性 50 人、女性 0 人)

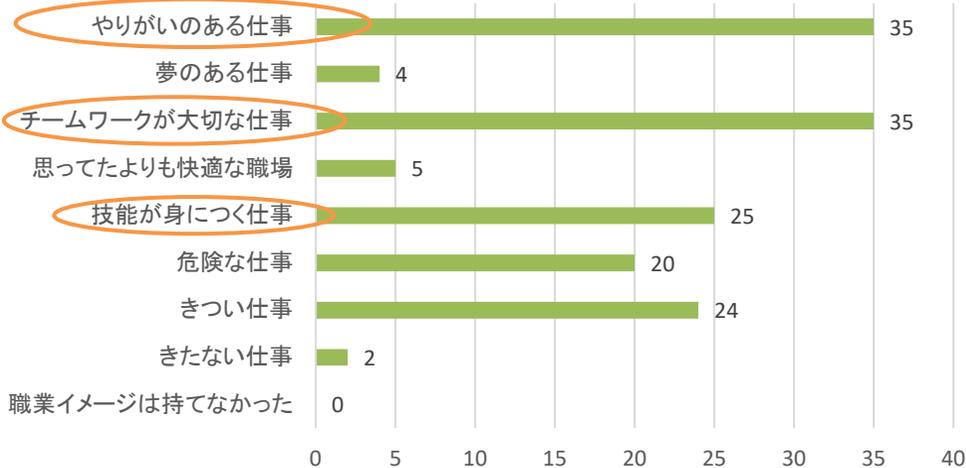
職業を選択する際に意識する項目
(意識する順番ごとに3項目を選択)



○その他体験してみたい専門工事業について(複数回答あり)



建設業のイメージは?(複数回答)



建設業が職業選択になったか



アンケート結果③

主な感想、興味を持ったこと

- ・職人さんたちの作業スピードがとても速く自分もこうなりたいと思った。
- ・全員で協力しあうことが大切なのが良くわかった。
- ・思っていたより嫌な職業ではないと思った。
- ・雰囲気がとても良く仕事にやりがいを感じ良い経験でした。
- ・こんなに多くの職種があるとは思わなかった。
- ・本当にいい経験になりました。建設業にも興味をわいてきたので仕事についてもいいかなって思います。

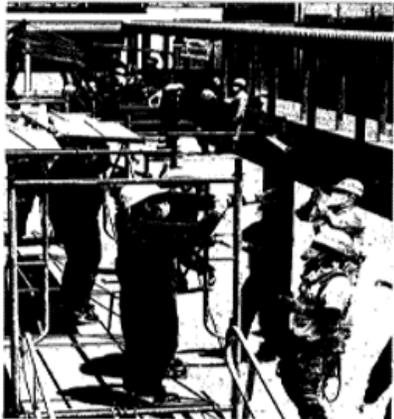
教員のアンケート結果

- ・生徒だけではなく、教員である私にとっても、とても有意義な時間となった。
- ・実際に働く現場の人と関われる機会はとても重要。
- ・技術の進化しており、自分もやってみたいと思った。
- ・肉体的にきつい作業でも明るく元気に場を盛り上げていただいて、職場の雰囲気の良い会社だと思った。
- ・今回、このような体験をすることが出来、生徒たちはもちろん、私自身も良い経験になりました。

読売新聞 6月14日夕刊 特集されました

給料高い・休暇取れる・希望持てる

若返りへ懸命アピール



「いよいよ来た、頑張る建設現場や材料が並ぶ現場に、若返りへ懸命アピール」

高校生に体験授業

建設現場の体験授業が、建設業界の若返りへ懸命アピール。建設現場の体験授業が、建設業界の若返りへ懸命アピール。

建設業「新3K」

建設現場の体験授業が、建設業界の若返りへ懸命アピール。建設現場の体験授業が、建設業界の若返りへ懸命アピール。

建設現場の体験授業が、建設業界の若返りへ懸命アピール。建設現場の体験授業が、建設業界の若返りへ懸命アピール。

建設現場の体験授業が、建設業界の若返りへ懸命アピール。建設現場の体験授業が、建設業界の若返りへ懸命アピール。

インフラ老朽化 人材の確保急務

九建日報 5月17日

鞍手竜徳高生徒に作業体験

九州地方整備局と建設業の連携による作業体験を実施



九州地方整備局と建設業の連携による作業体験を実施。九州地方整備局と建設業の連携による作業体験を実施。

できない、足場設置や型枠組み立てなどの作業を体験した。写真1。

九州地整と九州建専連は、建設業への若手入職者の減少や高齢化などの課題を踏まえ、担い手の確保・育成のための取り組みを行っている。その一環として、平成29年から業界と行政が一体となって高専学校を訪問し、生徒、保護者、教員に対して建設業の社会的な役割やものづくりの素晴らしさを直接語り掛け、交流するプログラムを実施している。

16日の出前授業には、鞍手竜徳高等学校の総合学科工業技術系列に通う約50人が参加。開会式では、九州建専連の杉山秀俊会長と九州地整の川畑孝幸建設業課正課長が挨拶があった。杉山会長は、建設業について「自分の携わった仕事が目に見えやすく、将来にわたって残る、魅力のある仕事。本日の出前授業を通じて、建設業に興味を持ってもらえることを期待している」と、川畑正課長は「本日の出前授業が、建設業への若手入職者の増加につながることを期待している」と話した。

同校の森和嘉教諭は、3年前の出前講座を受けた生徒の一人が、建設業を就職先に決めた事例もある、とし、「今回の体験を通じて、職業の選択の幅が広がることを期待している」と話した。

講師が皆さんの将来に左右する大きな経験になるかもしれない。それぞれの作業に真剣に取り組んでほしい」と呼び掛けた。

授業は5班に分かれて、それぞれ1時間ずつ「足場設置」(協力企業・スギヤマ、中村工業)、「型枠組立」(高崎組)、「鉄筋ガス圧注」(栄進工業)、「電気工事」(農田電気商会)、「解体工事」(保田産業、ダイアン)、「オノケン、勝田土木」の作業を体験した。

鉄筋のガス圧注を体験していた生徒は「少し緊張したが、楽しく作業ができ、建設業に興味を持てた」と話し、この日の授業を通じて、建設業も就職先の選択肢の一つに加わったようだった。